

▶ 2023. 11. 4 (土)

生徒 A 子：「…

水道に深紅の薔薇
水面に映る漆黒の薔薇
ギヤマンの水が遊技して
白銀の甘水の衣装が乱舞
濃緑の天空から落ちる
亜麻色の衝撃
ゆけ、勇者よ！
天かけるペガサスのように…
暁に吠えるぶたのように
…」

え？

これ、なに？なに？

生徒 A 子：「わからんかね…

現代詩、現代詩っ！」

わからん！

”太陽に吠えろ”ならわかるけど…

ぶたが太陽に向かって吠えるかねえ？

ブタ：「ぶたが太陽に向かって吠えて、悪いかっ！」

いえ、いえ、どうぞご自由に…

春先になると、こうゆうわけわかなコトを口走る輩が這い出てきます。

近寄らないことです、はい！

生徒 A 子：「ふん！」